

広場と建物について

※本イラストはイメージです。

※運営事業者が作成した「谷中五丁目遺贈地 これまでのワークショップまとめ報告会」の資料抜粋（8月19日時点の案）

建物が道路側にあることで、広場から道路への子供の飛び出しに配慮できる。

▶建物部分に集う人や構造物により、広場から直接子供が飛び出すことへの配慮をしている。

防火水槽を広場部分に埋蔵し、道路側に採水口を設置。

まち並みを形成するように、既存のまち並みラインを意識した位置に建物を建てる

広場への夜間の不審者の侵入を、通りに対し建物を前面に設置することで防げるよう配慮。

※本イラストはイメージです。

建物1Fの機能・活動について

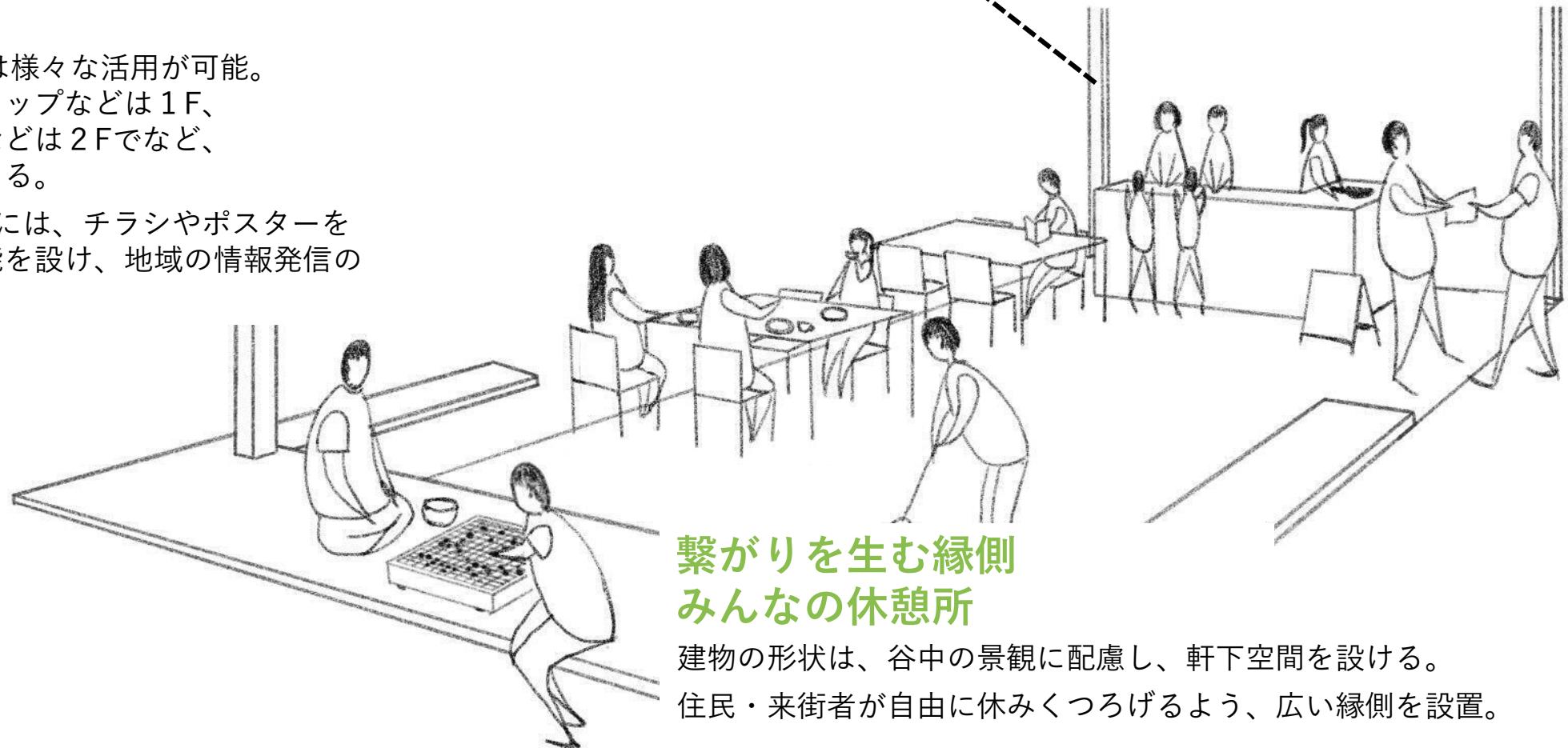
ワークショップや トークイベント

1Fと2Fのスペースは様々な活用が可能。
ものづくりワークショップなどは1F、
セミナーや体操教室などは2Fでなど、
用途によって選択できる。

1Fエントランス部分には、チラシやポスターを
掲出できる掲示板機能を設け、地域の情報発信の
拠点として活用。

キッチン付フリースペース

イベントがない日はどなたでも休憩できるフリースペースとして活用。
キッチンを設置することで、広場内の菜園で取れた野菜の調理や、食事
企画も可能にする。



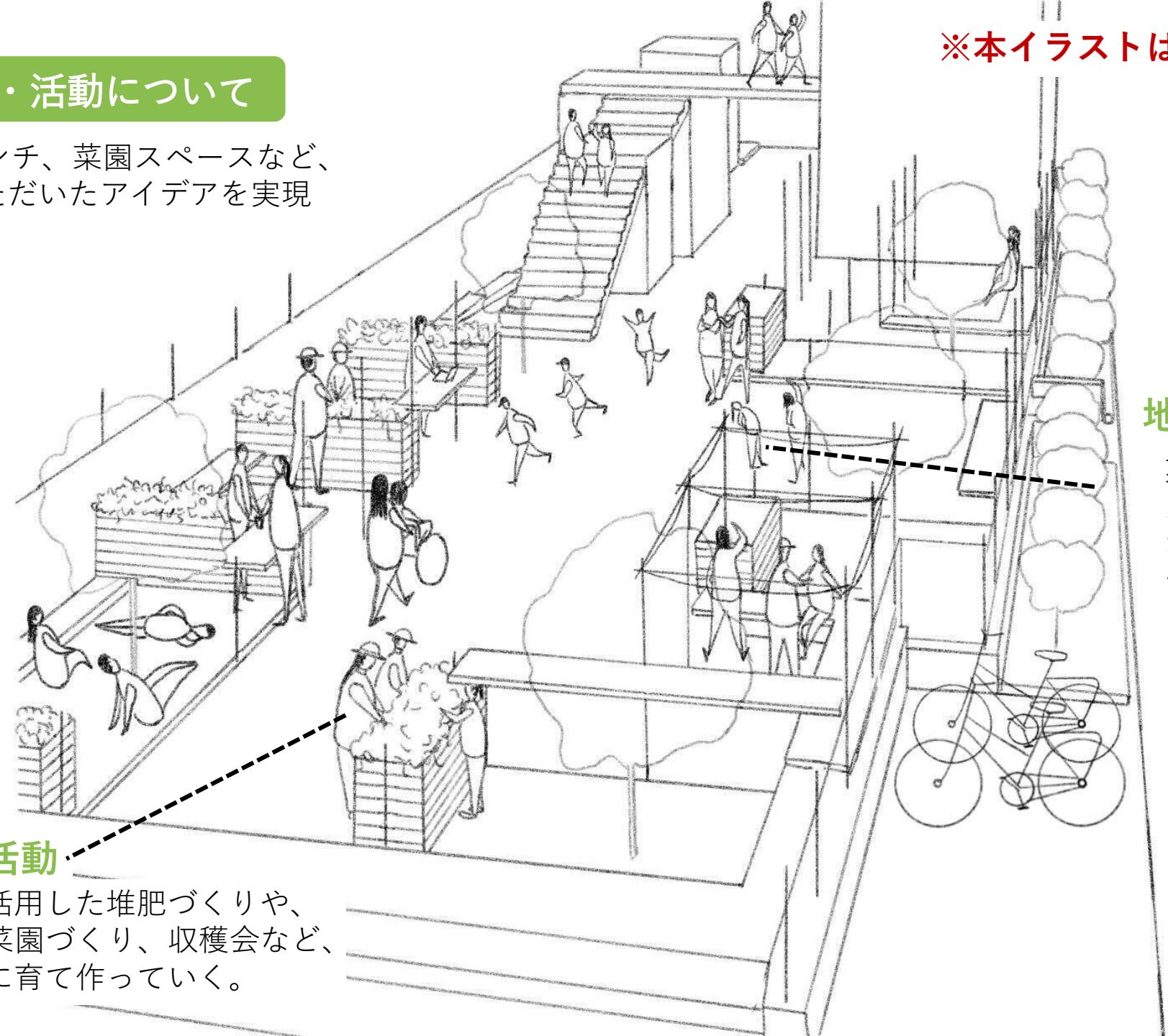
繋がりを生む縁側 みんなの休憩所

建物の形状は、谷中の景観に配慮し、軒下空間を設ける。
住民・来街者が自由に休みくつろげるよう、広い縁側を設置。

※本イラストはイメージです。

広場ゾーンの機能・活動について

広場は、散歩できるベンチ、菜園スペースなど、みなさんから出していただいたアイデアを実現できる機能を設置。



堆肥づくり・菜園活動

お寺から出る落ち葉を活用した堆肥づくりや、レイズドベッドによる菜園づくり、収穫会など、地域のみなさんと一緒に育て作っていく。

地域交流イベント

菜園・植栽以外のスペースでは様々なイベントの実施が可能。